※令和３年度以前入学生用

学校番号	3006

令和５年度　工業科（建築都市工学系 建築システム専科）

教科	工業科	科目	建築製図	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	建築設計製図（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築製図を通じて主に鉄筋コンクリート造や３次元CADを利用した建築物の企画・計画・設計についての基礎的知識、作図のルールなどを学んでいきます。建築製図では、これまで学習した建築計画・建築構造・建築構造設計・３年生で学習する建築施工・建築法規などの知識を用い、まとめる能力が求められますので、普段から建築全体のことについて目を向けるように心がけましょう。また、課題については期限内に正しく・美しく・速く描くことを念頭に取り組むようにしましょう。

2　学習の到達目標

〇建築設計製図の基本を学び，設計製図法に至るまで段階を迫って学習する。
〇そのうえで、CADによる設計製図の概要を学習する。
〇建築に関する基礎知識を，総合的にまとめる能力を身につけるように学習する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	各種建築工事に使用される設計図書を作成することに興味・関心をもち，建築設計製図の意義や役割の理解および諸問題の解決を目指して，主体的に学習に取り組むとともに，建築技術者としての望ましい心構えや態度を身につけている。	各種建築工事に使用される設計図書作成に関する諸問題を，総合的な見地から的確に把握し考察を深め，建築設計製図における基礎的・基本的な知識を活用して適切に思考・判断し，創意工夫した製図法で的確に表現する力を身につけている。	各種建築工事に使用される設計図書作成に関する基礎的・基本的な知識を習得するとともに，創意工夫して表現する設計製図の技能を身につけている。	建築設計製図に関する学習や作図･課題演習を通して，建築設計製図に関する基本的な概念や総合的な把握の仕方を理解し，各種建築工事における設計図書の意義や役割，作図手順などの知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 出席状況 メモ・スケッチの記述 発表・発言 相互評価・自己評価	学習状況の観察 出席状況 メモ・スケッチの記述 発表・発言 相互評価・自己評価	学習状況の観察 製作品（図面・模型）	学習状況の観察 製作品（図面・模型）

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	鉄筋コンクリート構造の設計製図	・鉄筋コンクリート構造の設計手順 ・鉄筋コンクリート構造製図の基礎知識 ・鉄筋コンクリート構造製図の手順 ・鉄筋コンクリート構造設計図の模写 1)配置図・平面図	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:鉄筋コンクリート構造の設計製図について関心を持つ態度 b: 鉄筋コンクリート構造の基本的な知識を活用し、的確に表現する力 c: 鉄筋コンクリート構造について創意工夫して表現する設計製図の技能 d: 鉄筋コンクリート構造の設計図書の意義や役割，作図手順などの知識の理解	・学習状況 ・出席状況 ・製作品等の内容 ・発言 ・相互評価 ・自己評価
2学期	3DCAD による設計製図	・鉄筋コンクリート構造設計図の模写 1)立面図・断面図 2)かなばかり図	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:鉄筋コンクリート構造の設計製図について関心を持つ態度 b: 鉄筋コンクリート構造の基本的な知識を活用し、的確に表現する力 c: 鉄筋コンクリート構造について創意工夫して表現する設計製図の技能 d: 鉄筋コンクリート構造の設計図書の意義や役割，作図手順などの知識の理解	・学習状況 ・出席状況 ・製作品等の内容 ・発言 ・相互評価 ・自己評価
3学期	3DCAD による設計製図	・CAD システムを利用した3 次元 CAD 設計図の模写 1)立面図・断面図・ 2)パース	○	○	○	○	a:CAD システムを利用した設計製図について関心を持つ態度 b: CAD システムの基本的な知識を活用し、的確に表現する力 c: CAD システムについて創意工夫して表現する設計製図の技能 d: CAD システムを利用した設計図書の意義や役割，作図手順などの知識の理解	・学習状況 ・出席状況 ・製作品等の内容

※表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現　　c:技能　　d:知識・理解